

第39回吉岡彌生記念講演会 (第368回東京女子医科大学学会例会)

【プログラム】

(第1部) 令和5年度研究奨励賞授与式 ※関係者のみにて執り行います。

日時 2023年5月22日(月) 午前9時30分～40分

会場 彌生記念教育棟1階 彌生先生座像前

吉岡彌生研究奨励賞

小林浩子(糖尿病・代謝内科学分野 講師、平成5年卒)

成人1型糖尿病のスティグマと臨床的・社会的影響に関する実態調査(多施設研究)

吉岡博人記念総合医学研究奨励賞

研究代表者: 貝淵信之(顎口腔外科学分野 講師)

共同研究者: 松峯 元(形成外科学分野 准教授)・高木 亮(先端生命医科学研究所 助教)

間葉系幹細胞シートによる薬剤性顎骨壊死の治療

(第2部) 令和4年度研究奨励賞受賞者研究発表

配信日時 2023年5月22日(月) 午前9時～29日(月) 午前9時

配信方法 オンデマンド配信

吉岡彌生研究奨励賞受賞者

長坂安子(麻酔科学分野 教授・基幹分野長、平成6年卒)

遺伝子改変マウスとテレメトリーを用いた、麻酔による血圧低下機構の解明とその臨床応用

(第3部) 第39回吉岡彌生記念講演 [至誠会ポイント付与対象講演]

配信日時 2023年5月22日(月) 午前9時～29日(月) 午前9時

配信方法 オンデマンド配信

司会 唐澤久美子(東京女子医科大学学会 幹事)

丸 義朗(東京女子医科大学学会 会長)

開始のご挨拶

岩本絹子(学校法人東京女子医科大学 理事長、昭和48年卒)

ご挨拶

扇内美恵先生(扇内医院 理事長・院長、昭和46年卒)

吉岡彌生先生の精神から学ぶ <一般社団法人至誠会共催>

薬師寺道代先生(医師・医学博士、元参議院議員、平成元年卒)

政治の裏話～女性の視点から政治を考える～

【視聴申込】

対象プログラム 第2部と第3部

申込先 <https://forms.gle/95o29ynBoTKnpwb37> (Google フォーム)

申込期限 2023年5月18日(木)

(第2部) 令和4年度吉岡彌生研究奨励賞受賞者研究発表

遺伝子改変マウスとテレメトリーを用いた、麻酔による血圧低下機構の解明とその臨床応用

(麻酔科学分野) 長坂安子

全身麻酔にしばしば用いられる吸入麻酔薬(セボフルラン)による血圧低下は、周術期の合併症罹患率と死亡率を増加させ予後を悪化させるが、麻酔薬による血圧低下の機序は未だに不明である。我々は先行研究において、吸入麻酔薬セボフルランが、一酸化窒素(NO)の受容体の1つである可用性グアニル酸シクラーゼ(sGC)- α 1を介して麻酔作用を発現すること、セボフルランを投与したマウスの脳内では、sGC- α 1を介して血管弛緩作用をもつcGMPが増加することを報告した。この研究から、吸入麻酔薬が生体内のNOを増産した結果、血管平滑筋を弛緩させ血圧の低下を来す可能性に着目した。そこで、高濃度(4.5%)と低濃度(2.0%)のセボフルランを吸入したラットの血液内のNO代謝産物濃度が、濃度依存性に上昇するという仮説をたてた。亜硝酸窒素、硝酸窒素測定器 ENO-30(エイコム社)を用い測定を実施した結果、血中の硝酸イオン(Nitrate)濃度がセボフルラン4.5% vs. 2.0%吸入群で、それぞれ血漿中(9.63 ± 0.91 vs. 12.64 ± 2.44 , $p=0.028$)、赤血球中(3.28 ± 1.20 vs. 3.31 ± 0.75 , $p=NS$)であった。亜硝酸イオン(Nitrite)濃度がセボフルラン4.5%と2.0%吸入群で、それぞれ血漿中(0.22 ± 0.44 vs. 0.26 ± 0.06 , $p=NS$)、赤血球中(0.09 ± 0.04 vs. 0.09 ± 0.03 , $p=NS$)であった。つまり血中のNitrate、Nitrite値はともにMilli-Q水よりも高い値を示したが、仮説とは逆に、セボフルラン2.0%を吸入したラットは4.5%に比べ血漿中Nitrateのみ有意に高値であった。NOのセカンドメッセンジャーであるcGMP(環状3',5'-グアニル酸)を測定予定としており、考察を加える予定である。